

■令和6年度 市長をかこむ会

松蔭地区 R6.7.29 (月)

19:00~20:26

場所: 松蔭地区公民館

出席者	住民	21人	市 大城市長・藤堂総務企画部長 政策推進課 六條補佐・井野係長
担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
学校教育課	小学校の統廃合について	松蔭小の児童数が84人、江戸岡小の児童数は115人。松蔭地区公民館を建設する事業が始まっていることから、当然松蔭地区は残るとのことだと思う。児童数がどんどん減っていく中で、松蔭小、江戸岡小の2校が必要なのか、市長の意見を聞きたい。	新しい公民館ができたから、その地区に小学校が残るという考え方は成り立たないと思っている。最後に残るのは公民館だと思っているので、公民館は建て替えていく。松蔭小、江戸岡小どちらを残すかは議論が必要だが、ずっと2校が残るということは考えていないので、ある時期には決断して一つにしなければならない時が来るとしている。先日、鳥根県益田市で児童8人の小学校、保育所、公民館、診療所が一緒の複合施設を視察し、大変参考になった。八幡浜市にも特色のある学校があるので、どうしても残しておかなければならないと考えた時は、複合施設も考えていきたいと思う。
学校教育課・総務課	愛宕中学校の跡地利用について	中学校統合後、愛宕中の校舎が残る。地震の際、松蔭地区でも新町、大黒町はそこへ逃げるのが一番早く、そのまま愛宕中が中期の避難所になると思う。それを前提として統合後の愛宕中の施設を備蓄倉庫に使う計画があるか。	津波の被害がないということで、八幡浜消防署の前に備蓄倉庫を建設した。愛宕中は耐震化も済んでおり、いろいろな使用方法があるかと思う。市民の要望も聞きながら、活用していきたい。備蓄倉庫については、消防署前のものを十分に使っていきたい。愛宕中を避難所として使う場合は、それなりの備蓄品も必要なので、ある程度場所を決めて設置していきたい。 【補足】 (学校教育課) 学校の跡地利用については、様々な意見を伺い検討していく予定である。 (総務課) 八幡浜防災倉庫付近は津波災害警戒区域内に位置し、基準水位が2.4~2.9mで予想されている。そのため、防災倉庫1階部分は浸水するが、備蓄物資等を保管している2階部分は浸水しないこととなっている。
生涯学習課	旧舌田小学校の体育館について	旧舌田小の体育館が老朽化している。今後どのような予定か、案があれば教えてほしい。雨天時にサッカーの練習場として利用頻度が高いが、老朽化で床にささくれが出ており、子どもがケガをしやすくなっている。除却するのか、それとも改修するのか教えてほしい。	体育館のことについては、まだ議論していない。寄附金で建設したと聞いているので、地区の方にもそういった意見があったということで相談してみた。地区の方々、現在利用されている方々が今後どのように利用したいのかによって、支障があれば市としても改修することを考えていかなければならないと思う。 【補足】 旧舌田小体育館は、主にスポーツ少年団(八幡浜ジュニアサッカー)が雨天時に利用するほかは、舌田地区がスポーツフェスタの競技練習で利用する程度である。 今のところ、舌田地区からは特に要望は寄せられていないが、利用者及び地域のニーズを聞き取り、今後の対応を検討したい。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
学校教育課・総務課	愛宕中学校の跡地利用について	愛宕中の空き教室の一つを個人用の備蓄品の倉庫にしたら、「より早く、より高く」の避難方法が拡充すると思う。手ぶらでそこに逃げれば自分たちの備蓄品があるというのも考えの一つかと思う。	<p>備蓄品には賞味期限もあるので交換する必要がある。今の状況では、消防署前の備蓄倉庫があるので、いざという時にそこから搬送するというのもやっていけたらと思っている。手ぶらで逃げるということが、一番理想的である。安心感が持てるように、備蓄品がどれだけ必要かということを検討していきたい。</p> <p>【補足】 （学校教育課） 学校の跡地利用については、様々な意見を伺い検討していく予定である。</p> <p>（総務課） 愛宕山プロジェクトを行っていくうえで、愛宕中学校校舎の一部に防災倉庫を構えることは、必要なことと考える。ただし、個人所有物の保管となった場合は、管理の方法や校舎や部屋の施錠等の問題など、多くの課題が考えられるので、どのように活用できるのかを今後、関係する地区自主防災会等と検討していきたい。</p> <p>なお、高知県黒潮町のある地区では、世帯毎備蓄というものが行われており、地区で防災倉庫を構え、地区住民が同じボックスを準備したうえで、高台に世帯毎の最低限の備蓄品を保管している事例もあり、黒潮町の一部の地区で始まった地区別世帯毎備蓄が町全体に広がっているそうである。このような事例も地区住民で協議してほしい。</p>
建設課・総務課	新川駐車場撤去後のフェンスについて	新川駐車場撤去後、本町から沖の橋まで新しくフェンスが設置された。消防団の観点から言うと、フェンスを越しては吸管が届かない。消防団は自然水利がメインなので、せっかく新川に水があるのに水が出せないということになったら、初期消火に支障が出る。何箇所か吸管用にフェンスを開けることができるか。	<p>実際に見てみて、どのような状況なのかを把握したうえで、対応策がとれるようであれば早急に対応したい。</p> <p>【補足】 （総務課） 消防署の協力のもと、築港公園前で検証をしたところ藤かごが隙間を通過することを確認した。場所によっては多少藤かごを凹ます必要がある箇所もあると思う。また、ポンプ車については、フェンス上部からの吸水でも問題ないと考える。</p>

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
学校教育課・総務課	愛宕中学校の跡地利用について	避難用品をリュックサックに詰めているが、高齢化により、それを抱えて愛宕山に登ることはできない。だから、教室を一つ明渡してもらい、避難用の個人の水や着替えなどを置かせてもらうことはできないか。個人の責任でローリングストックする。	<p>高齢化により足腰が悪く、車でないと避難できない方々の避難場所として今の愛宕山プロジェクトがある。松蔭地区の住民全員が愛宕山に避難するという計算にはなっていない。南海トラフ巨大地震を想定されていると思うが、どうやって市民全員を巨大地震、津波から守るか、誰1人死なせないということで正直今は頭がいっぱいである。避難した後の避難生活、それが避難所であったり、その後の仮設住宅であったりするが、もう少し時間をかけて検討させてもらいたい。</p> <p>【補足】 (学校教育課) 学校の跡地利用については、様々な意見を伺い検討していく予定である。 (総務課) 愛宕山プロジェクトを行っていくうえで、愛宕中学校校舎の一部に防災倉庫を構えることは、必要なことと考える。ただし、個人所有物の保管となった場合は、管理の方法や校舎や部屋の施錠等の問題など、多くの課題が考えられるので、どのように活用できるのかを今後、関係する地区自主防災会等と検討していきたい。</p> <p>なお、高知県黒潮町のある地区では、世帯毎備蓄というものが行われており、地区で防災倉庫を構え、地区住民が同じボックスを準備したうえで、高台に世帯毎の最低限の備蓄品を保管している事例もあり、黒潮町の一部の地区で始まった地区別世帯毎備蓄が町全体に広がっているそうである。このような事例も地区住民で協議してほしい。</p>
政策推進課	高齢化による地域のコミュニティについて	地区での社協の寄附金の集金等を輪番制等にすると、高齢化により無理である。地区のことは地区で話をするということが基本となっているが、今の世の中だと、それがもうできない状況になっている。寄附金や防犯灯の集金など、統一されたルールを行政に指導してもらわないと、これからの高齢化社会を乗り切れない。地区が地区でなくなっており、これからの高齢化社会を迎えることに対して考えてほしい。	行政だけでなく、住民の方、小・中学生、高校生も交えて自分たちの地区の未来を一緒に考える会があってもいいと思う。みんなでこの地区を良くしよう、そのためにはこんなことで困っているが解決する方法がないかというような話し合いの場があっても良いと思ったので、市の方でも考えてみる。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
学校教育課・総務課	愛宕中学校の跡地利用について	3日分の水、食料を入れたリュックはもう背負えない。カートでも何十メートルも引っ張れない。愛宕中が空いたらそれを置かせてもらえればよいなど公民館のみなどと話していた。ぜひ、愛宕中を使わせてほしい。一次避難場所になっているのが、堂々山とかお四国山である。手入れはしてもらっても崩れやすくお墓もある。灯りもなく、雨露もしのげない所ではなく、橋さえ落ちなければ、避難ビルに指定されているホテルやビルに逃げたい。	愛宕中については、先ほどから要望が出ているので、市の方でどのような対応ができるのか、持ち帰って考えさせてもらいたい。 【補足】 (学校教育課) 学校の跡地利用については、様々な意見を伺い検討していく予定である。 (総務課) 愛宕山プロジェクトを行っていくうえで、愛宕中学校校舎の一部に防災倉庫を構えることは、必要なことと考える。ただし、個人所有物の保管となった場合は、管理の方法や校舎や部屋の施設等の問題など、多くの課題が考えられるので、どのように活用できるのかを今後、関係する地区自主防災会等と検討していきたい。 なお、高知県黒潮町のある地区では、世帯毎備蓄というものが行われており、地区で防災倉庫を構え、地区住民が同じボックスを準備したうえで、高台に世帯毎の最低限の備蓄品を保管している事例もあり、黒潮町の一部の地区で始まった地区別世帯毎備蓄が町全体に広がっているそうである。このような事例も地区住民で協議してほしい。
建設課	新川左岸の嵩上げについて	新川駐車場撤去後は、防護柵、嵩上げがされた。新川左岸についても嵩上げしてもらえるのか。	左岸の方も嵩上げするようになっている。今は右岸の方が高いので、右岸に合わせるような形で左岸も工事する予定になっているので安心してほしい。 【補足】 左岸側については、千代田橋から本町橋の区間において嵩上げを行うようになっており、9月から工事を再開する予定である。
商工観光課	てやてや広場の跡地について	てやてや広場がなくなって、買い物がすごく大変になった。お年寄りの方が増え、フジに行くのも大変だし、ローソンは少し値段が高い。日用品的なものの買い物ができる所がどこかにできる予定はないか。	てやてや広場の跡地にショッピングセンター的なものがオープンするという情報はない。街中で駐車場もないし、その周辺の人だけの買い物でやっていけるかといったら、家賃も払っていかねばならないのでなかなか難しい。今、農協とフジが移動販売車を出しているの、そういったところに声をかけることはできる。